



立命館学校教育研究会

総会・秋季大会 2020 ご報告

日 時：2020年12月13日（日）13：00～16：00

開催形態：Zoomによるオンライン開催

PROGRAM：13：00～13：20 総会

14：30～15：10 講演会

「クラウドサービスを活用した授業デザイン～オンラインでもつながり続けるために～」

講師：尾崎 拓郎氏／大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 情報基盤センター
および 教育イノベーションデザインセンター 講師

14：30～15：10 実践報告

「オンライン教育の可能性を探る～科学教育、国際教育の新しい挑戦～」

報告者：武田 奈々子氏／立命館中学校・高等学校 教諭<英語科>
廣松 光一郎氏／立命館中学校・高等学校 教諭<数学科>

15：20～15：40 講演者と実践報告者との懇談会①

15：40～16：00 講演者と実践報告者との懇談会②

総 会

本年度は、コロナ禍により例年6月に実施している総会および春季大会が中止となりました。そのため、秋季大会開催に合わせて総会を開催いたしました。また対面での開催を見送り、Zoomによるオンライン開催となりました。

総会では、児玉敏男会長の挨拶で始まり、2019年度から継続する運営委員について紹介がなされました。引き続いて、井上正嗣副会長より2019年度の事業報告、上山義宏副会長より本年度の活動計画について提案があり、いずれも承認されました。

そして、教職研究科長および NITS 立命館大学センター副センター長である森田真樹委員より立命館大学の近況について報告がなされ、最後に、本学の教職支援センター主任の松本賢一委員から2020年度に実施された教員採用試験の特徴や本学学生の受験結果に

ついて報告がありました。

講演 会

2020年春から新型コロナウイルスの感染拡大が急速に進み、その影響は多方面にわたりました。教育現場でも例外ではなく、そのなかでも「学びを止めない」という現場の教師による強い思いのもと、様々な実践上の工夫がなされています。本大会では、Webを活用した教育実践を通して「With コロナ時代」の新たな学びを構築する方途を探るべく、大阪教育大学講師の尾崎拓郎氏に「クラウドサービスを活用した授業デザイン～オンラインでもつながり続けるために～」と題してご講演いただきました。

講演では、GIGA スクール構想から、「オンライン授業」の定義、授業デザインの在り方、具体的なツールの活用方法まで多岐に渡りお話いただきました。参加者からも、「幅広い内容について最新の情報を織り込みながらお話

いただき大変参考になった。」、「気づき、ヒントをいただいた。」、「日本における ICT 活用の状況やコロナ禍での学校現場の状況の共有化ができた。」と感想がよせられ、新しい気づきをいただき貴重な講演会となりました。

実践報告

本大会後半は、「オンライン教育の可能性を探る～科学教育・国際教育の新しい挑戦～」と題し、立命館中学校・高等学校教諭、武田 奈々子氏および廣松 光一郎氏に実践報告をいただきました。

立命館中学・高等学校では、様々な国との国際交流を通して科学教育・国際教育を展開していますが、本年度のコロナ禍のなか、オンラインによって取り組まれた「JAPAN SUPER SCIENCE FAIR」、そしてその事前準備として取り組んだ「ICT ブートキャンプ」を中心に報告がなされました。

最後に、現在の日本の生徒にとって ICT は単なる遊び道具となってしまっていますが、人間的な成長や国際社会への貢献のために使えるようになるために、その必要性を示すのが教員としての使命でもあると括られました。

参加者からは、「とても刺激を受けた。」、「国際社会の中で日本の教育がどのような位置にいるのか改めてするのに本当に役立った。」、「ピンチをチャンスに変えた、実践に至るまでの戸惑いや不安、そして実際にチャレンジしていく様子、またすばらしい結果を得られたことがよくわかり、勇気をいただいた。」といった感想がいただき、実りある実践報告となりました。

講演者と実践報告者との懇談会

講演会と実践報告終了後、Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いて、2 グループに分かれて 20 分 2 回の懇談会を行いました。それぞれの回に、講演者と実践報告者に入っていました。直接、お話することで、活発な質疑応答、意見交換がなされ大変有意義な時間となりました。

参加者からも「いろいろな質問ができて大変有意義であった。」、「たくさんの視点から意見を聞くことができ勉強になった。」と感想をいただきました。20 分を 2 回という時間はあっという間に過ぎ、もう少し時間がほしかったというご意見をたくさんいただいたため、次回に向けて活かすことができればと思います。

以上

